

1. 開催概要

- 【日時】 令和3年8月1日（日）9:30～12:00
 【会場】 旧柳生中学校 体育館
 【内容】
- ・ 地区住民の少子高齢化が進む中、地域を維持するための地域交通を検討するために意見交換会を開催
 - ・ 今後の検討課題を整理するため、事前アンケートを参考に、今バスを利用している人、利用したいと思っているが利用できない人について意見を出し合い現状を把握し、地域の課題を参加者で共有

2. 参加者

東部6地区（田原、柳生、大柳生、東里、狭川、月ヶ瀬）の連合会長等の代表の方々が参加

地区	参加者	ファシリテーター等
田原	6名	2名
柳生	7名	4名
大柳生	6名	3名
東里	6名	2名
狭川	5名	2名
月ヶ瀬	5名	2名
合計	35名	15名

3. 意見交換会の様子



4. 主な意見の概要

- 【田原地区】
- ・ 移動販売の準備段階に入っている。
 - ・ 地域で乗合タクシー等を運営できないかの検討を進めている。
- 【柳生地区】
- ・ 介護タクシーやコミュニティバス等を併用して、奈良交通のバス停まで行くことを検討したい。
 - ・ 送迎できる人が少なくなっている。
- 【大柳生地区】
- ・ 病院までのボランティア輸送に取り組むなど移動手段の確保に努めてきた。
 - ・ ボランティア輸送においても担い手の高齢化などによりいずれ担い手がいなくなるのが考えられる。
- 【東里地区】
- ・ 須川から大柳生までのバスがあれば診療所や大柳生回りで奈良に行くことができる
 - ・ ゴルフ場の送迎バスやスクールバスを使った運用も考えて欲しい
- 【狭川地区】
- ・ 団塊の世代が免許返納するとバスを利用する。利用促進し路線維持したい。
 - ・ 日常の買い物等は大柳生まで行かないといけませんが、大柳生までの交通がない。中ノ川～大柳生を回る東部地区内循環バスがあればいい。
- 【月ヶ瀬地区】
- ・ 幹線から離れた人が高齢化した時にどうするかが問題。細かいところまでコミュニティバスで入って貰いたい。
 - ・ セブン-イレブンの移動販売で毎週1回来て貰っている。範囲を広げたい。

5. 講評（総括ファシリテーター 土井 勉）

今は大丈夫かもしれないが、5年後10年後どうやって移動したらいいの？いざバスを乗ろうとしてもバスが無くなっていたり、バスの乗り方が分からないということもある。まずはバスに乗って体験するのが大事である。日常生活をバスで移動してみることで足りないことも分かって来て、それを地域で話合って貰う事も大事である。

色んな工夫をしている地域があるが、工夫をすることは大事であるのでそれをもっといいものにしていくことと、それが持続可能かどうか？安全で安心して生活できる地域にしていくために、今何をしたらいいかを引き続き地域で考えていって欲しい。

6. 奈良市からのお知らせ

次回は令和3年10月16日9時30分からJAならけん奈良東部支店で開催予定です。